

ソシエテ ジェネラルがアトラスとファンド組成 オフィス中心に1200億円を投資

フランスのソシエテ ジェネラル アセット マネジメン
ト オルタナティブ インベストメンツ (SGAM AI) は、日本
の不動産投資市場に本格参入する。アトラス・パートナ
ーズ (本社:千代田区) の協力を得て、日本の不動産に投資
する SGAM AI Japan Property Fund を組成し、2007
年6月に運用を始める計画だ。1年以内に8億ユーロ
(1200億円)の運用資産規模をめざす。

SGAM AIがファンドマネジャーを務め、アトラス・パ
ートナーズはメインのアセットマネジャーとして投資案
件の発掘や物件の運用を手がけていく。投資対象は、東
京やその近郊、大阪、名古屋にある30億～100億円程
度の物件だ。運用資産の8割以上を、今後の賃料上昇が期
待できるBクラスのオフィスビルとし、2割を上限とし
て住宅や商業施設、物流施設などを組み入れる。運用期
間は6年で、必要に応じて2年間の延長ができるオプショ
ンを設ける。為替ヘッジの有無で変わるが、投資家のト
ータルリターンはユーロベースで年10～12%を目標に
設定している。 (Web発信日2007.04.06)